

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立てください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立後も
大切に保管してください。**

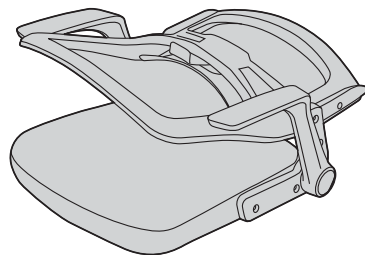
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

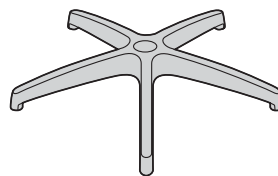


組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCM018BK)と
下記の部品番号(①～⑧)と部品名(キャスターなど)をお知らせください。



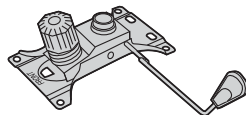
①座面×1個



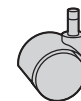
②レッグフレーム×1個



④ガスシリンダー×1本



③座面ブラケット×1個

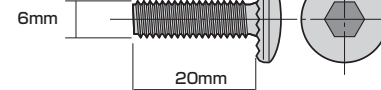


⑤キャスター×5個

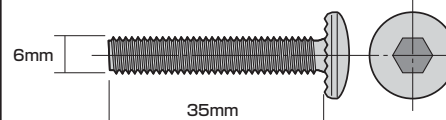


⑧六角レンチ(5mm)×1本

使用ボルト



⑥ボルトA×4本 (M6×20)



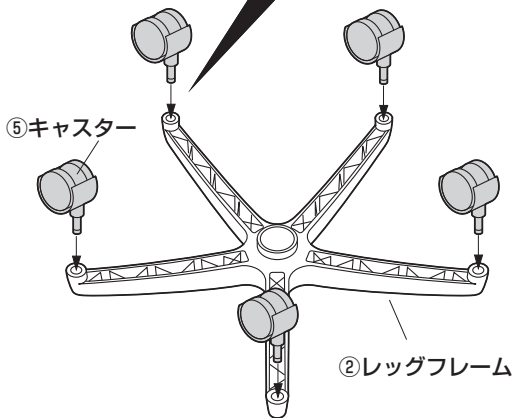
⑦ボルトB×2本 (M6×35)

1 レッグフレームをひっくり返し、
キャスターを取付けます。

下
↑

⚠注意⚠

それぞれのキャスターは全て圧入式です。
(手ではめこむ)カチッと音がするまで、
押し込みます。



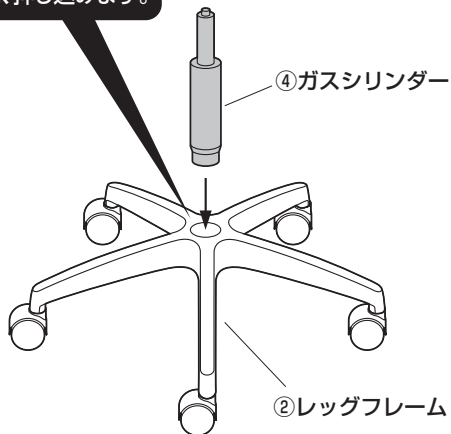
⑤キャスター

②レッグフレーム

2 レッグフレームにガスシリンダー
を取付けます。

⚠注意⚠

ガスシリンダーが後で
抜けることのない
ように、押し込みます。

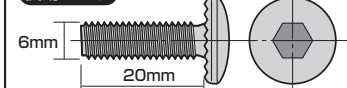


④ガスシリンダー

②レッグフレーム

3 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。

使用ボルト



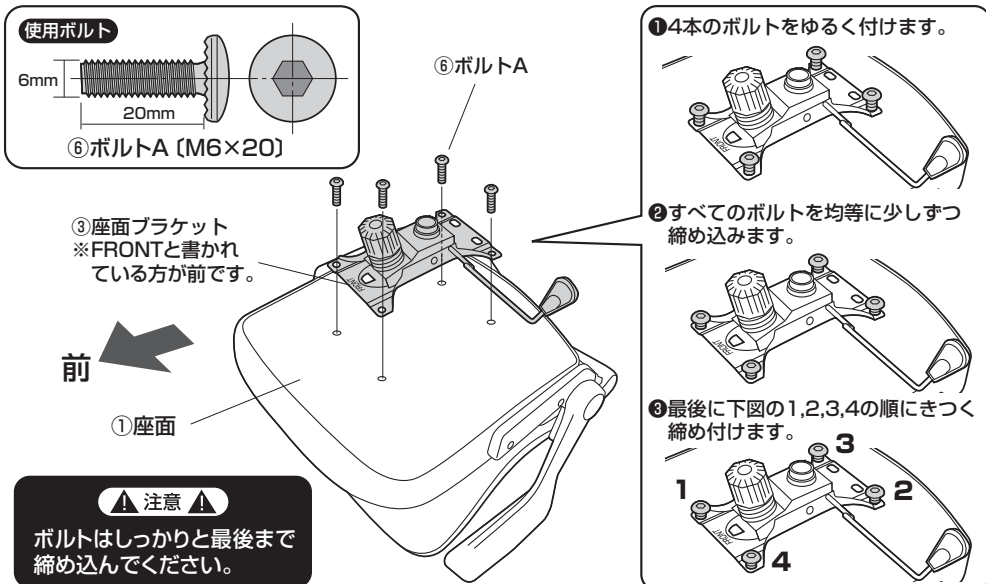
⑥ボルトA (M6×20)

③座面ブラケット
※FRONTと書かれ
ている方が前です。

前
←

⚠注意⚠

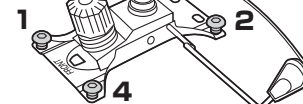
ボルトはしっかりと最後まで
締め込んでください。



①4本のボルトをゆるく付けます。

②すべてのボルトを均等に少しずつ
締め込みます。

③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく
締め付けます。



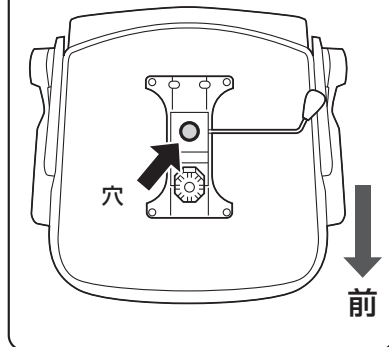
4

ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込みます。

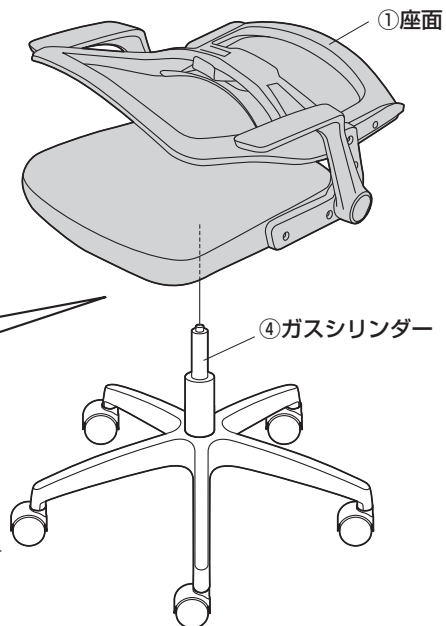
座面に座り、体重をかけて押し込みます。

下から見た図

※下図の穴に差し込みます。

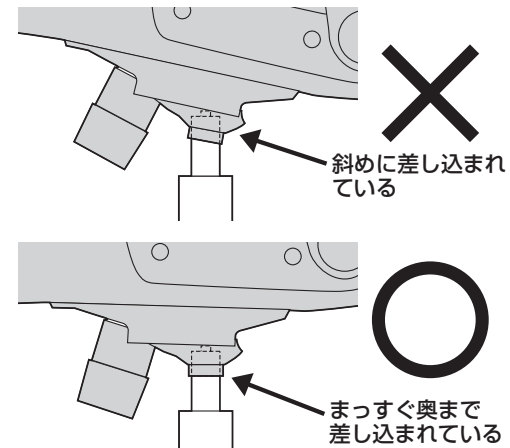


前



⚠注意⚠

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



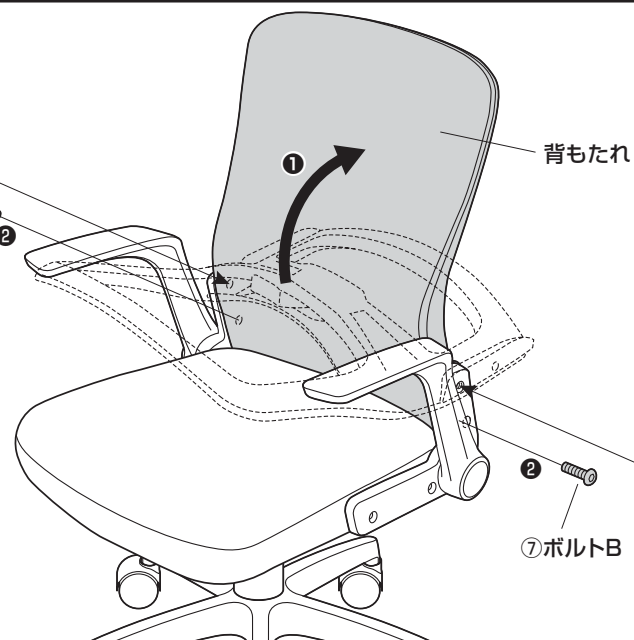
5

背もたれを起こして完成です。

- ①背もたれを起こします。
- ②ボルトBで背もたれを固定します。
- ③上段のボルトを最後まで締め付けます。

③ボルトを最後まで締め付けます。

⑦ボルトB



⑦ボルトB

③ボルトを最後まで締め付けます。

使用ボルト

6mm

35mm

⑦ボルトB (M6×35)

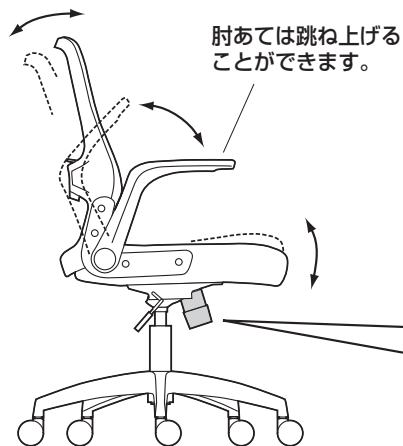
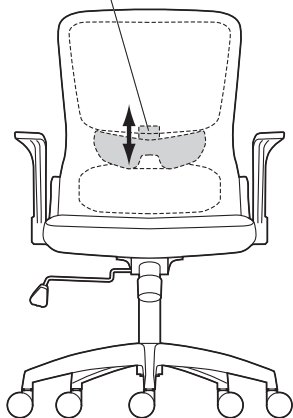
各部の調節方法



注意

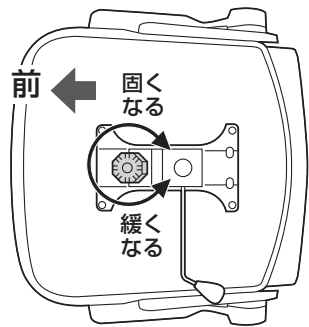
レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面プラケットを差し込み直してください。

背面のランバーサポートは5段階で高さ調節することができます。

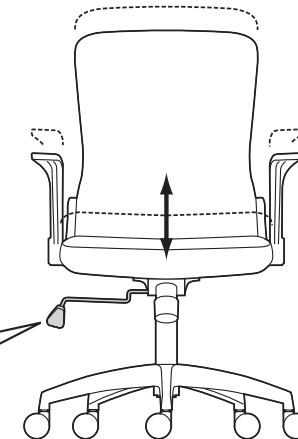


下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



- ① レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。
- ② レバーを外側に引き出すと、ロック機構が働き、差し込むと固定されます。



チェアの品質表示

構造部材:座部・背もたれ部・肘あて部/ポリプロピレン 脚部・キャスター部/ナイロン
張り材:座部/布 背もたれ部/ポリエステルメッシュ クッション材:ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面、肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※ 以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。